

2015年5月22日



## 個人情報（プライバシー）条例

香港において、1996年12月20日施行されたThe Personal Data (Privacy) Ordinance (個人情報 (プライバシー) 条例) がかかる。

なぜ条例のタイトルの「プライバシー」がかかるとされたか？

そもそも「プライバシー」とは何だろう。一般的に認識として誰がどこで何をやっているかであり、例えば、誰とデートするか。不倫やお風呂風景などの情報である。

思われるだろう。しかし香港にはプライバシーを守る法律は1つもない。この条例は個人情報 (personal data) を

守るために作った法律であり、決してプライバシー

を守る訳ではない。全條

例を読んでも、この条例

の中にはプライバシーに関

する定義はない。しかも、解釈される前のデータは

(b)名前、IDやパスポート番号、年月日やクレジット

D P P 2 : データに関する正確性、保存、処分

D P P 3 : データに関するカード番号などは極めて

重要な情報である。

ており他方、人権法 (Hong Kong Bill of Rights) の中では「私生活」とされてくる。

この様に法令名からも誤解が生まれやすく、単語ですら一致していない。

条例は下記の3つの条件を満たす個人データしか守らない。

①直接的または間接的に生きている人間に関するデータとは、

テープなどの媒体も含め、

データとは、紙だけではなく

データとは、生物 (血、髪)

タとは生物 (血、髪) に関する指紋) 経済状況、前科の有無であり、より厳しい基準が採用される。

②そのデータから直接的にまたは間接的に、その人間の身元が確認できる

③実用的に、データへのアクセスや処理した形態

この条件により以下の

ことことが分かつてくる。

(a)個人情報の範囲は生ま

れてから死ぬまで。ただし、

ばならない。

D P P 1 : データに関する収集

D P P 2 : データに関する

D P P 3 : データに関する

D P P 4 : データに関する

D P P 5 : データに関する

D P P 6 : データに関する

対応ポリシー

の範囲である。

条例に違反すると最高

1万香港ドルまでの罰金

となる。

### 筆者紹介

ANDY CHENG  
弁護士 アンディ・チエン法律事務所代表  
米系法律事務所から独立し開業。企業向けの法律相談・契約書作成を得意としている。香港大学法律学科卒業。慶應義塾大学へ留学後、在香港日本国総領事館勤務の経験もありジェトロ相談員も務めている。日本語堪能  
[www.andysolicitor.com](http://www.andysolicitor.com)  
[info@andysolicitor.com](mailto:info@andysolicitor.com)

